

りょうCafé(タウンミーティング)のご案内

りょうCafé Zoom



●2022年11月11日(金)20時~22時
Zoomを利用したオンライン議会報告会です。前半の1時間は広報として、船橋市政について石川りょうがご報告。後半の1時間は広聴として、参加者の皆さんからのご質問やご意見、ご要望などを石川りょうが直接うかがいます。

出張りょうCafé

●3人以上の人数を集めていただければ、石川りょうが市内のどこにでも伺ってりょうCaféを開催します。お気軽にお問合せください。
●日々の相談事や、船橋市政へのご意見・ご要望等は、お一人からでもいつでも受け付けています。ご都合の良い日時と場所に伺います!



*日時等の変更の可能性があるため、石川りょう公式サイト、SNS等で必ずご確認ください。

プロフィール

【学歴】

栄光幼稚園、芝山西小学校、芝山中学校、八千代高校、立教大学法学部国際比較法学科、英国国立マンチェスター大学院、早稲田大学公共経営大学院



▲鴨川市の大山千枚田

【職歴】

青年海外協力隊、国際連合インターン、開発コンサルタント、外務省(外交官)を経て、船橋市議会議員(現:広報委員長)

【資格など】

法学士、開発学修士、公共経営学修士、TOEFL(CBT)257点(TOEIC915点相当)、仏語検定3級、プロジェクトマネジメントスペシャリスト(PMS)、政策学校「一新塾」32期生、ビール検定2級、ふなばし市民大学学校平成26年度ボランティア入門学科

連絡先

ご意見やご質問、ご要望を何でもお寄せください!

石川りょう公式サイト
<http://www.ishikawaryo.net>



もやっています。

発行者:石川亮
住所:船橋市芝山3-26-1
携帯電話:080-6575-4711
固定電話:047-463-2690
メール:info@ishikawaryo.net

この通信でご紹介できている活動内容は、ほんの一部です。詳細な内容やその他の活動は、石川りょうのブログを是非ご覧ください。

石川りょう アメブロ



で検索! または、QRコードはこちら →



船橋市議会議員 無所属

石川りょう通信

Vol.44 討議資料

LINEから道路の損傷等を通報できるようになります!

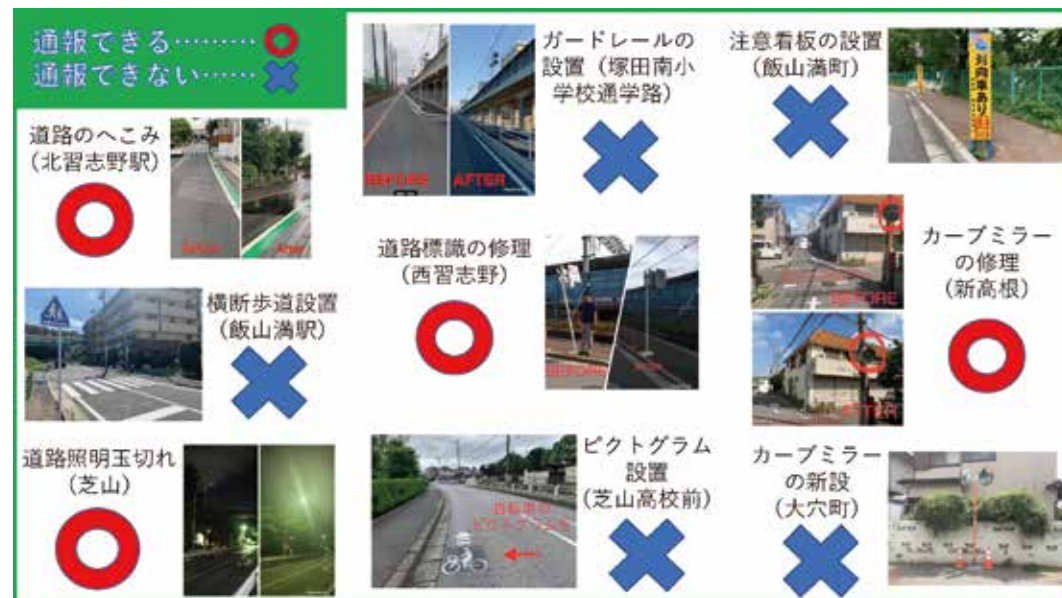
10月4日から、市民の皆さんがLINEを通じて道路の不具合などを市に直接通報できる船橋市道路損傷通報システムが試行運用されます。通報できる例は以下のように紹介されています。

- 車道・歩道:穴、側溝の破損など
- 安全施設:ガードレール・カーブミラー破損など
- 街路灯:玉切れなど
- 街路樹:倒木、枝折れ、枯損など

対象はあくまで修理や交換などの応急処置的なことに限られるようです。信号機や横断歩道、ガードレール、カーブミラーの設置とい

った根本的な道路改善策は対象になりません。こういった要望まで受け付けられるシステムである方がさらに良いとは思いますが、「新しく作って!」という内容であれば、これからも市議会議員にご相談ください(もちろん、市役所でも大丈夫です)。これまで通り、全力で対応させていただきます。

最後に、LINEでは何が通報できて、何ができないのかの例を下の図にまとめます。これまでに、私が市民の皆さんの声を受けて実際に対応した事例です。LINEのシステムでは通報できないことがまだまだありますね。



海老川上流地区のまちづくりが及ぼす治水への影響

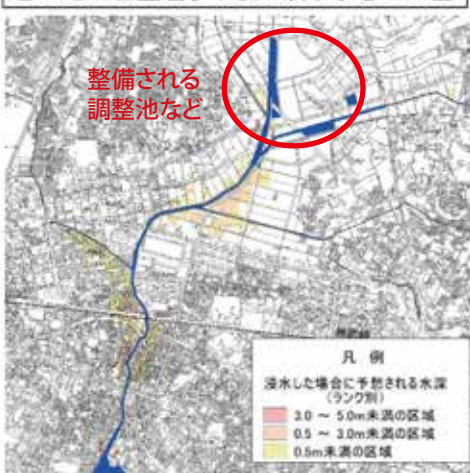
令和4年1月18日に開催された千葉県都市計画審議会にて、「土地区画整理事業による海老川流域の治水への影響に関する検討を続け、住民に対しご理解いただけるよう丁寧に説明を重ねること」とする附帯意見が採択されました。これを受けて、船橋市は海老川上流地区のまちづくりを行った場合の治水への影響に関するシミュレーションを実施しました。

結論から申し上げますと、海老川上流地区のまちづくり(土地区画整理事業)により、事業地内に整備される雨水管や雨水ます、6つの調整池などの治水対策と、千葉県が実施する海老川下流部の河床掘削と海老川調節池の暫定掘削などの治水対策を実施することによって、海老川流域の治水は今より良くなることがわかりました。以下の図は、10年に1度の降雨を想定(海老川流域の24時間雨量163mm)したものになりますが、事業後には、浸水する区域が少なくなっていること、浸水した場合の水深も浅くなる場所が多くなっていることがわかります。

①土地区画整理事業前の浸水想定区域図



②土地区画整理事業後の浸水予想区域図



今回のシミュレーションでは、上の図で示した10年に1度の降雨想定に加え、50年に1度(海老川流域の9時間総雨量221mm)と1000年に1度(海老川流域の9時間総雨量516mm)の降雨想定も行っており、後者2つの想定では、土地区画整理事業実施後でも、事業区域周辺の一部で浸水が深くなってしまふ場所があることもわかりました(しかし、全体的に治水は改善する)。それらの箇所について、市は土地区画整理組合と協議を続けて対策をとっていくとしています。

船橋市には、今後も市民の皆さんに丁寧に説明する姿勢を保っていただきたいものの、このシミュレーション結果と市民の皆さんへの説明会(8月19日~21日の間に6回開催)をもって、本市は最低限の説明責任は果たしたものと考えます。

海老川上流地区の土地区画整理事業には、令和8年度における市立医療センターの開院と東葉高速線の新駅開業という大きな事業も含まれており、すでに船橋市議会は可決しています。今後は、これらの事業の実現に遅れが生じないように、速やかに工事を開始していくべきです。

【ご参考】海老川上流地区のまちづくり



▲ 海老川上流地区のまちづくりの場所

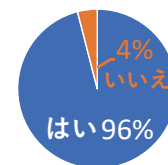
土地区画整理事業地内の土地利用計画図 ▶

小中高生オンライン議会見学会の実施

今年も、小中高生オンライン議会見学会・意見交換会を実施することができました(参加者46名)。しかし、新型コロナウイルス感染症のまん延状況を鑑みて、昨年と同様に、今年も来場型は断念し、オンライン型(Zoom)のみの実施となりました。テーマは、「議員に聞いてみよう!市議会のお仕事」。パワーポイントのスライドを用いて、議会の仕組みや、議会と市長との関係などを説明した後、本会議場や議長室などを動画で案内してバーチャル見学をしてもらいました。最後に、議員1人に対して4~5人の児童生徒をペアにしての意見交換会という流れです。

満足度は例年通り高く、児童生徒のほぼ全員が「また参加したい」と答えてくれました。また、これまでに市議会を実際に見たことがある児童生徒はほとんどいなかったのですが、見学会を経て、「今後市議会を見てみたいですか?」という質問に対して、96%が「はい」と回答してくれており、見学会後の行動にポジティブな変化が見られそうです。

今後、市議会を見てみたいですか?



議会に関心を持ってもらう主権者教育の側面からも、また、議員のモチベーションが上がるという側面からも、議会見学会は価値のある企画だと改めて認識しています。広報委員による振り返りの中で、来場型が実施できなかったことを嘆く意見が多く、来年度はどんな工夫をしてでも実現するべきだという力強い声もありました(来場型への参加希望は、定員40名のところ、100名近くからいただいていた)。

加えて、今後は船橋市議会が「出向いていく」という姿勢も大切だと私は考えています。11月に東葉高校への出前講座を計画しており、それが重要な試金石になると考えていますので、なんとか実現させたいと思っています。船橋市議会に出前講座というメニューが標準装備されており、学校のみならず、市民の皆さんからのご要望があればいつでも出向くことができる体制を整えたいと考えています。今期の船橋市議会議員の任期はあと半年あまりです(選挙は来年4月)。現広報委員長として、これを実現する道筋まではしっかり整えて、来期(改選後)の広報委員会にバトンタッチしていきたいと考えています。



▲ オンライン見学会の様子